

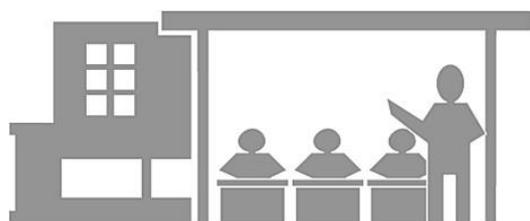
# そ ら 字 宙



## 日本語指導が必要な子どもたち

杉並区立済美教育センター 統括指導主事 加藤 則之

「平成元年 - 1校、平成23年 - 2校、平成24年 - 3校、平成28年 - 5校、平成29年 - 6校、平成30年 - 7校、令和2年 - 8校。」



これは、東京都立高等学校入学者選抜において、在京外国人生徒対象の選抜を実施するようになった学校数を表しています。都立高校では、日本語指導が必要な外国籍の志願者に対して、一定の応募資格の下、学力検査ではなく他の検査により選考を行う入試制度を実施しています。令和元年度の都立国際高校から始まったこの制度は、冒頭にもあるように、令和2年度に都

立杉並総合高校が加わり、現在8校まで実施する高校が増えました。

具体的な制度の中身について簡単に紹介します。令和3年2月に実施された令和3年度都立高等学校入学者選抜の「実施要項」を確認すると、以下のような内容が記されています。

### <在京外国人生徒対象の選抜>

#### ○ 応募資格

外国籍であり、3月31日までに中学校を卒業する見込みの者、またはすでに卒業した者で、外国から日本への入国後の在日期間が、4月の高校入学の時点で、原則として3年以内の者。

#### ○ 検査内容

作文と面接とする。

言語については、それぞれの検査において日本語または英語のどちらかを選択することができる。

この制度以外にも、都立高校では、日本への入国後3年以内の外国籍の志願者から申請があった場合には、国語・数学・英語・社会・理科による5教科の学力検査において、ひらがなのルビを振った問題を出題するとともに、辞書の持込み等の対応を行っています。また、例年6月から7月頃に中学3年生を対象に配布される「東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」という、入試の仕組みや都立高校の種類などが記された冊子には、日本語版に加えて「英語版」「中国語版」「韓国語版」の3種類があります。

ここまで、都立高校入試のことばかり述べてきましたが、都内の私立高校でも、海外から帰国した日本国籍の志願者を対象とした入試や、外国籍の志願者を対象とした入試を行っている学校があり、少しずつではありますが、日本語指導を必要としている子どもたちのための入試制度が拡大されてきています。

わたしたちの生きるこの社会は、ますますグローバル化が進み、多様な他者と協力していくことが欠かせなくなっています。自らとは異なる文化を理解するだけでなく、自らの文化を理解してもらうことも、これからは考えていく必要があります。日本で共に暮らし、共によりよい社会を築いていく子どもたちが充実した毎日を送ることができるように、済美教育センターとして「国際理解教育」を支えていきたいと思えます。



# 令和3年度 国際理解教育事業と主な内容

## 1 訪問指導

日本語の指導を必要としている帰国児童・生徒、外国人児童・生徒を対象に行う指導です。

- ・訪問指導要請書
- ・取り出しでの個別指導
- ・週2～3回訪問、1回2単位時間
- ・合計80単位時間

## 2 補充指導

- ① 訪問指導を受けていない場合
- ② 訪問指導を80単位時間終了後さらに日本語指導が必要な場合

- ・補充指導要請書
  - ・水曜日の授業終了後2単位時間・合計40単位時間
- ただし、学校と対象児童・生徒の希望がある場合は、曜日及び時間についてご相談ください。

## 3 国際交流の集い

帰国児童・生徒、外国人児童・生徒のスピーチによる発表会です。指導の様子のスライドショー、日本語指導教材・教具の紹介などもあります。

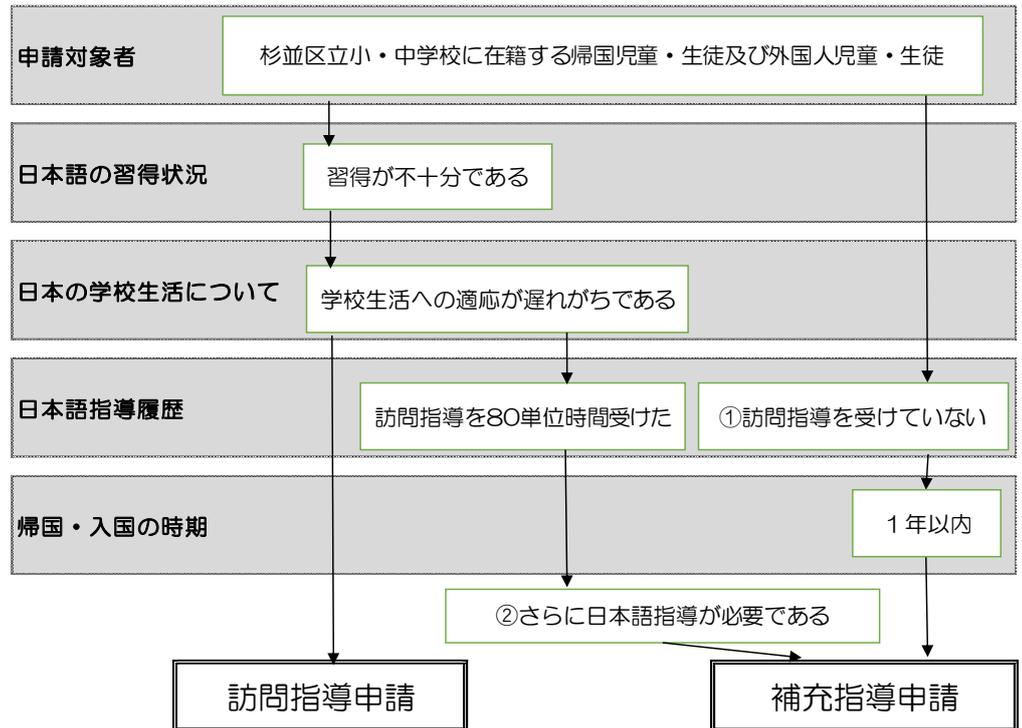
区内小・中学校に在学する帰国児童・生徒および外国人児童・生徒とその保護者等を中心に、どなたでも参加していただける催しです。（新型コロナウイルス感染防止対策のため制限することもあります。）

今年度の予定 令和3年12月18日（土）午後2時 杉並区久我山会館

## 4 広報誌

国際理解教育広報誌「宇宙(そら)」を年に2回発行しています。区内小・中学校の教職員の皆様に配布しています。

### 訪問・補充指導の申請について



### 令和2年度 訪問・補充指導実績

出身国 滞在国等	合計
ネパール	36
中国	12
アメリカ	6
フィリピン	4
韓国	3
イギリス	1
イタリア	1
台湾	1
ブラジル	1
ベトナム	1
ミャンマー	1
合計	67 (A)



### 東京の学校生活（DVD）～日本の学校で楽しく学ぶために～

来日間もない視聴者（児童・生徒）が、日本の学校に転入する際に困ることや知っておきたいことについて理解し、日本の文化や習慣の違いに気付くとともに、学校生活に必要な日本語の習得を図ることができます。

構成：1章 日本の学校生活 2章 小学校 3章 中学校 4章 高等学校  
言語（音声・字幕）：日本語、中国語、フィリピン語、英語、韓国・朝鮮語

令和2年度3月に東京都教育委員会より各小中学校に配布されています。ぜひ、ご活用ください。